



車内の金城学院大学

104限目

「薬理学」

「鼻水はどうして出てくるの？」

[アレルギー反応]

花粉の季節には、ひどい鼻水に悩まされる人も多いと思いますが、その原因は「マスト細胞」と呼ばれる細胞にあります。マスト細胞は、花粉などのアレルギー物質に触れると、細胞内から「ヒスタミン」という物質を放出し、血管を拡張させます。実は、血管の表面には小孔と呼ばれる非常に小さな穴があり、血管が拡張されると小孔も広がり、そこから赤血球などの有形成分を除いた透明な液体成分だけが滲み出ます。これが鼻水の正体であり、この仕組みによってアレルギー物質を鼻から洗い流しているのです。花粉症とは、この仕組みが過剰に働いた状態であり、「抗ヒスタミン剤」によってヒスタミンの作用を抑制することで、症状を緩和することができます。このように、身体に現れる症状の原因を物質レベルで究明することによって、薬による治療法が研究されているのです。

身体の仕組みを学び、健康に役立てる。それが薬学部 薬学科。

——河合塾トップ講師による——
入試直前対策講座(一般・センター)
12/16(土)10:00~14:30

強く、優しく。



金城学院大学